古石ひでさと5期目に向かっての議会活動

古石 ひでさと後援会だより

URL：http://古石.com/

第３１３０号
発行日　令和２年４月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

空知管内での出来事

タクシーが料理お届け

岩見沢の日の出交通 空知初、空車を活用

宅配弁当を運ぶ日の出交通の乗務員

【岩見沢】新型コロナウイルスの感染拡大で「料理などの配達需要が高まっているのを受け、タクシー会社の日の出交通（中野雄社長）＝市内大和の９輪島＝申請受付けを始めた。特例に基づき国の許可を得て、空知管内では初の取り組みという。

２０１７年に解禁となったタクシーによる荷物の配達は道路地に限られるうえ、貨物運行料金とともに精算するため、運転手が商品を立て替え、配達後にタクシーアプリ事業は、客が宅配を頼みたい飲食店と同社（電話、商品をタクシーが取りに行き、配達先にタクシーアプリ事業は、客が宅配を頼みたい飲食店と同社（電話、商品をタクシーが取りに行き、

行機関者の資格が必要だった。国土交通省は「料理などの配達需要が高まっているのを受け、全国のタクシー事業者に対し、飲食料品の運送、配達を認めること」を決め、２１日から全道を決め、２１日から全道

宅配に強力な助っ人

西方建設は配達代行サービス 5月下旬にもスタート

西方建設が始めるデリバリー支援事業

【岩見沢】市内建設業の西方建設（西方洋一郎社長）が、市内の飲食店や医療機関を利用する市民向けの配達代行サービスの開始に向け、準備を進めている。調達した三輪バイク3台と自前のライトバン3台を活用し、同社役職員とボランティアスタッフで「ウーバー計画」西方社長

建設業を主に一般貨物自動車運送事業許可も持つ同社が、社会貢献活動の一環として企画。「デリバリー支援『届け屋』プロジェクト」と銘打ち、人手が足りずに配達できない飲食店の出前を楽しみたい市民のニーズに応える。「配達1回200～300円で代行する考え。感染防止対策に万全を期し、電子決済による代金支払いにも対応する準備を進めている。

このプロジェクトでは、有志のボランティアスタッフの努力がポイントのひとつ。西方社長は「感染に苦しむ人ながら生活する市民の手助けをしたい。わずかな時間でも構わないので、取り組みに力を貸してほしい」と協力を呼びかける。

問い合わせなどは同社（☎０１２６・２５・９２００）へ。【新田一寛】

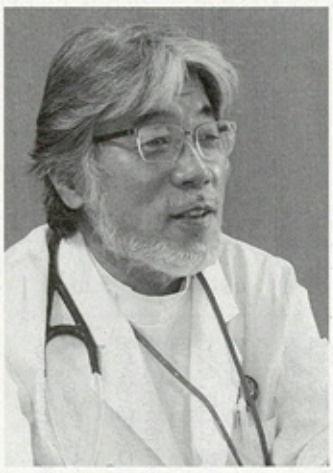
英語通訳に関する情報は「drive」で
www.driveplaza.com/
ドライブプラザ　検索
0570-024-024
NEXCO

人

労力削減や利用者増が期待される。同社の中路隆広営業所長は「タクシーの利用で増えている空車を有効利用し、飲食店に元気になってほしい」と話している。

問い合わせは同社（☎０１２６・２５・２１２１）へ。【末永直樹】

滝川・新十津川・雨竜



滝川市立病院 松橋院長に聞く

病院維持、スタッフの確保が重要

新型コロナ対策も

長年にわたって滝川市立病院に内科医として勤務し、今年4月1日から院長に就任した松橋浩伸氏（62）。市立病院が抱える課題や今度の方向性、新型コロナウイルスへの対応などを聞いた。

（聞き手・丸岡宣久）

―現在、市立病院がせっかい。

松橋院長　この地区掛える課題、今後の経営方針についてお聞かは人口減少が著しく、高齢化率も40％に近く、数字。市内のクリニックや高齢者施設と連携した患者対応が求められます。また厚生労働省や道の地域医療構想による医療機関の集約化の動きもあり、当院としてもどのような働きを担うかが課題のため、今ある急性期の役割を果たしたい。

【プロフィール】オホーツク管内津別町出身。旭川医科大学卒業後、旭川医大病院や岩見沢市立病院などに勤務し、内科診療部長や副院長を経て、院長に就任した。専門は循環器内科。日本内科学会や循環器学会などに所属する。

―診療や病院経営であわせて今取り組んでいる回復期病床（地域包括ケア病棟、２０１６年から導入）も高齢者が多い背景から、増やすことを検討していきます。

設備も大切ですが、何よりも医師や看護師、スタッフの確保が重要です。

―就任にあたり、医療スタッフに呼びかけたことは。

松橋院長　病院一丸となって地域住民の健康をまもるべく努力することに尽きます。あわせて新型コロナウイルスへの対応として医療スタッフ自身の健康と生活を守ってほしい。

―診療や病院経営で新型コロナウイルスによる影響も大きいのではないでしょうか。

松橋院長　どの病院でも同じだと思いますが、影響は大きい。当院では急ぎではない検査や入院を延期し、入院患者との面会も原則中止をお願いしており、電話による受診や薬の処方も行っています。新規の患者さんは減っていて経営的に厳しいものがありますが、院内感染を防ぐためにも継続していきます。

―診療や病院経営で新型コロナウイルスによる影響も大きいのではないでしょうか。

松橋院長　新型コロナウイルスの感染を防ぐため、空知でも不要不急な外出は控えてほしい。この地域の感染者はまだ少ないが、今の取り組みは過度な自粛ではありません。地域住民の健康を守る基幹病院の一つとして、みなさんに親しまれ、信頼され、受診していただけるよう努力していくので、ぜひ活用をお願いします。

松橋院長　新型コロナウイルスの感染を防ぐため、空知でも不要不急な外出は控えてほしい。この地域の感染者はまだ少ないが、今の取り組みは過度な自粛ではありません。地域住民の健康を守る基幹病院の一つとして、みなさんに親しまれ、信頼され、受診していただけるよう努力していくので、ぜひ活用をお願いします。

―改めて地域住民に呼びかけたいことはありますか。

中空知の感染症指定医療機関は砂川市立病院ですが、今後、空知でも感染者が増えた場合、軽症・中等症の患者を受け入れる日が来ると思います。その場合は人員を配置し、受入スペースを確保する必要があり、ほかの診療への影響を最小限にしたいと思います。

そうならないためにも感染拡大を防ぐ取り組みが必要。院内でもスタッフに不要不急な外出の自粛や対面で食事をしないことなどを呼びかけており、待ち合いスペースでもイスの間隔をあけるなどできる取り組みを進めていきます。

―改めて地域住民に呼びかけたいことはありますか。

地域の話題をお寄せ下さい
空知新聞社
☎(0125)22-1333
FAX(0125)22-2506

宏仁会しろした病院へ転換

介護医療院 3機能併設の介護保険施設 南空知医療圏で初

介護医療院を開設したしろした病院

【美唄】医療法人社団宏仁会しろした病院（大通西1北1、城下紀幸理事長）は4月から、介護療養病棟全59床を介護医療院に転換した。これまでの介護療養病床は、国の方針で2023年度までに廃止されるため。介護医療院への転換は南空知医療圏で初めて。

これに伴い、しろした病院の新医療機関名を「しろした内科・小児科クリニック」、新事業所名を「しろした病院介護医療院」に改称した。

介護医療院は医療・介護・住まいの3機能を併せ持つ医療と介護の介護保険施設。同院の介護度は平均4・2で、要介護5が6割、要介護4が2割を占める。医療行為のたん吸引や経管栄養などの医学管理、レントゲンやエコーなど各種検査、看取りにも対応する。

同院では内科・小児科医の城下院長ら医師3人を含め、看護、介護などスタッフは合計32人。日勤・夜勤あわせて入所者6人に対し1人以上の看護師と入所者4人に対し、1人以上の介護職員を配置する。

介護医療院への転換に伴う長期療養・生活施設環境について、4人部屋や2人部屋などの多床室は、パーテーションやロールスクリーンなどの組み合わせで仕切り、プライバシーの確保に努めているという。

同院の小橋一夫事務長は「医療の必要な要介護者の療養・生活支援施設で、在宅としての機能を持つことで他めている。

このプロジェクトでは、有志のボランティアスタッフの努力がポイントのひとつ。西方社長は「感染に苦しむ人ながら生活する市民の手助けをしたい。わずかな時間でも構わないので、取り組みに力を貸してほしい」と協力を呼びかける。

問い合わせなどは同社（☎０１２６・２５・９２００）へ。【新田一寛】

子どもたち 手指洗浄

居酒屋店主の阿部さん

【美唄】「子どもたちの新型コロナウイルス感染予防に役立てて」―。市内南美唄町の居酒屋あべちゃんち会長スローガンには「次代への架橋～私達が今出来ること」を掲げた。２０日～６月末まで、ＹＥＧ活動を停止。「まずは感染拡大防止が最優先」と呼びかけ、今は次代への過渡期と位置付ける。「新しい軌跡の第一歩となる年にしたい」と抱負を語る。

本年度は新会員４人を加え、48人でスタート。女房役の専務理事に加藤一美さんを据え「岩見沢ＹＥＧを考えるプロジェクト室」など3室、5委員会体制で活動する。「自粛期間が終われば頭張りたい」と意気込む。

スナック「ベリーベリー」店主。道の休業要請を受け、25日から5月6日まで休業する。北海道観光社交事業協会岩見沢支部長も務め「1日も早い新型コロナの終息を願っている」。岩見沢市出身の45歳。

ZOOM UP ひと

波田野 愛 氏

岩見沢商工会議所青年部会長

新しい軌跡の第一歩となる年に

地域で異なるも利用堅調

交通空白地域を解消

乗り合いタクシー利用状況 であえーる発着最多

北村地区からの乗合タクシーの7割以上が発着したであえーる岩見沢

【岩見沢】市が2020年度に運行した乗合デマンド型乗合タクシー「であえーる岩見沢」と「栗沢西地区」で延べ88人が利用。「栗沢町岐阜地区」は昨年7月からの運行だが、延べ99人が利用した。市は、本年度も運賃等を変更せずに運行している。

乗合タクシーは、前日までに発着地点などを電話で予約すると、自宅などからの往復で利用できる。市と岩見沢地区ハイヤー協会が協力し、2015年の実証運行を経て18年4月から本格運行を開始した。市内の交通空白地解消を目指した取り組みのひとつとして導入。昨年7月には栗沢地区へ対象地域を拡大し、町の広範囲をカバーすることで、交通空白地域を解消した。

運行対象エリアは、①岩見沢北地区（大願町、稔町など）②岩見沢西地区1（中幌向町、御茶の水など）③岩見沢西地区2（錦子町、双葉町、下志文町など）④栗沢西地区（栗沢町由良・栗部・北上・最上・北成・小西など）―。

発着点は、北地区は市立総合病院、であえーる岩見沢などの5カ所。それ以外の3地区は上幌向駅とAコープ栗沢店、栗沢病院など。

昨年4月からの1年間の利用状況は、①が中心市街地の「であえーる岩見沢」（市内4西3）が7割以上と圧倒的に多く、④は近接する「Aコープ栗沢店」「栗沢病院」の利用者が6割超だが「栗沢駅」までの利用は5件と振るわなかった。

所管の市企画財政部企画室は「利用動向は地元ニーズで異なるものの、利用は底調。栗沢地区では市営バス北斗線が廃線になったので、有効活用してもらえれば」と話す。

乗合タクシーは、各地区とも往路・復路でそれぞれ3便を設定。運賃は利用場所で異なるが片道300～1千円。利用日時や住所、人数を予約専用電話（岩見沢小型ハイヤー、☎０１２６・２２・４５００）に申し込むと